別記第2号様式(第7条関係)

令和４年７月24日

福島町議会議長　溝部　幸基　様

福島町議会議員　溝　部　幸　基

研 修 成 果 報 告 書

福島町議会議員研修条例第７条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

１　研修日時　　令和４年７月６日（水）
　　午後３時～午後４時３０分

２　研 修 先　　札幌市　「札幌コンベンションセンター」

３　研修目的　　令和４年度北海道町村議会議長会主催議員研修会

４　成　　果　　別紙のとおり

【研修会講演内容】

（１）「参議院最終情勢分析と選挙後の政局展望」
　　政治ジャーナリスト　泉　宏　氏

（１）「参議院最終情勢分析と選挙後の政局展望」

政治ジャーナリスト　泉　宏　氏

月刊「地方議会人」には、泉さんの「時流観望」が掲載され、その時々の政府・国会の動向・展望が紹介されている。相当長く続き、最近は、精読することなく、流し読みをするコーナーとなっておりました。幼少時から都心部に住み、時事通信社政治部記者として田中角栄首相の総理番で取材活動を始めて以来40年以上、「生涯一記者」をモットーに、永田町・霞が関で政治を見続け、「永田町の化石」の異名を持つ泉さんの話は、さすがに詳しく、・総裁選（岸田ノート、二階降ろし等）・党首会談（進行の仕切り、揺らぐ野党の駆引き等）・スキャンダル（細田衆議院議長、吉川衆議等）・維新－橋下徹（テレビ降板）・参院選各党獲得議席予想・政治日程予測（参院選後の党内閣人事～２０２６年衆院議員任期満了、２０２７年自民総裁選）と興味？を引く裏話・政局展望が続いた。

受講後の感想は、参議院選挙を控えたこの日程で、講師を選定した道議長会の意図に疑念を感じざるを得ないことを今年も指摘しておきたい。

特にコロナ感染症が終息しない厳しい状況下で、全道各地から、わざわざ札幌まで出かけて聞かなければならない内容なのか？と憂慮する。

＊参考に過去の政治ジャーナリストによる講演内容を掲載しておく。

橋本五郎さんの講演を除いては、今回と同様の感想となっておりました。

〇平成26年：「これからの日本政治」橋本五郎・読売新聞特別編集委員

〇平成28年：「日本の行方～政局・政治展望」長谷川幸洋・東京新聞論説副主幹

〇平成29年：「日本政治の昨日・今日・明日」島田敏男・ＮＨＫ解説副委員長

〇平成30年：「現代日本政治と政局の行方」岩井奉信・日本大学法学部教授

〇令和元年：「どうなる？今後の日本政治」政治評論家・有馬晴海

＜講師選定等の視点＞

今後の講師選定については、次の視点を参考に検討されることを望む。

・道議長会の課題を確認し、対応する研修テーマを検討する。→道内議員が情報共有する場となることを期待する。

・道総合計画等に沿った課題に対応する研修テーマを検討する。

（SDGｓ推進ビジョン、気候変動問題・低炭素社会モデル、再生可能エネルギー、人口減少問題、人材育成の手法、食と観光、コロナ感染症後のリスク分散型社会、北海道の役割、世界の北海道の在り方等）

・リモート研修の推進（実践）を期待する。（全国的には、すでに実践例が多く有り）